

塚本学院校友会学生活動支援制度について

1 活動支援の趣旨

塚本学院校友会（以下「校友会」という。）学生活動支援制度は、学生個人またはグループとして修学上有益な自主活動を支援することにより、充実した学生生活の創造と社会にとって有用な人材の育成を図ることを目的としています。

2 支援申請の資格等

本支援制度は、以下の要件を満たす学生が申請することができます。

- ① 学校法人塚本学院が設置する大阪芸術大学、大阪医療大学、大阪芸術大学短期大学部及び大阪芸術大学附属大阪美術専門学校に在学する学生であること。
- ② 塚本学院校友会の入会手続きを完了していること。（以下「準会員」という。）
- ③ 学業を継続する意思と能力がありかつ学業・人物とも優秀であること。

3 支援申請手続き

- (1) 本制度の支援志望者は、制度の説明書と支援申請書を、「塚本学院校友会」のホームページからダウンロードするか又は塚本学院校友会事務局（以下「事務局」という。）にて入手し、必要事項を記入のうえ郵便トラブル防止のため日本郵便の「レターパック」にて郵送してください。

大会等の開催要項（要綱）がある場合には、写しを同封してください。

- (2) 申請書を郵送した場合、速やかに志望者の氏名、学校、学科、学年及び連絡先電話番号を事務局に電話連絡して下さい。
申請書が事務局に到着次第その旨を志望者にお知らせします。

4 支援対象活動

支援対象は、以下の活動です。

学生個人または、グループとして、修学上必要かつ有用な活動
コンテスト・公募展・コンペティション・コンクールへの出展・出場

例

絵画・アート、小説・シナリオ・エッセイ、フォトコン、アニメ・映像、フィギュア・キャラクター・ロゴマーク、イラスト・まんが、建築・インテリア・エクステリア、工芸・雑貨、家具・プロダクト、音楽・作曲、グラフィックデザイン・ポスター、声優
ポピュラー音楽、ポピュラーダンス、舞踊等その他各学科に関連する公募展及びコンテスト

但し、研修・実習（インターンシップ含む）活動は支援の対象にはなりません。

また、コンテスト等について、予選・本選等が行われる場合には、最終選考のみ支援の対象としますので注意してください。

5 経費について

活動するために必要な経費(税込み)を全て記入してください。

記入例1、公募展等に出品される場合

- ① 公募展等の出品料費用 ②キャンバス・パネル等の費用 ③作品発送費用
④その他公募展等出品にかかる費用を明記してください。

記入例2、コンクール等に応募される場合

① コンクール等のファイルエントリー費用 ②スタジオレンタル費用 ③交通費
④ 宿泊費 ⑤伴奏者の交通費・宿泊費・謝金 ⑥その他コンクールにかかる費用を
明記してください。

◎支援対象費用

1 次審査を通過し、最終審査に行くために必要な経費を支援の対象としています。

・ 公募展等の場合

出品料及び作品発送等が支援されます。

・ コンクール等の場合

エントリー費用及び本人の交通費等が支援されます。

6 支援申請活動の在学中の完了

支援を申請する活動は、申請者の在学中に完了すること。

7 指導教員の推薦について

支援申請書（様式1-1）の「指導教員見解欄」に指導教員の推薦理由及び押印を受けてください。

8 受給回数制限等について

毎年度の支援金の受給回数は、その受給金額にかかわらず年1回限りとします。

9 支援申請の締切日

毎年度偶数月の月末（月末が休日の場合は翌日）に申請を締め切りますが、但し12月については、第3金曜日とします。いずれも事務局必着とします。
詳しくは、事務局にお問い合わせください。

10 採否の選考と決定

① 申請した学生については、塚本学院校友会援助金検討委員会が採否の審査を行います。
また、必要な場合には、個別に面接を行います。

なお、採否の結果は、原則締め切りから2か月以内に直接本人及び学校に連絡します。

② 審査結果の問い合わせについては、応じかねますので、その旨をあらかじめ了承のうえ申請してください。

11 支援金の額と入金

支援金の最高額は、10万円です。

また支援金は、あらかじめ指定の口座へ入金します。

12 支援申請事業の完了報告

支援を申請された活動が完了した時は、完了後1ヶ月以内に必ず所定の「事業完了報告書」に必要な申請者あて領収証等（コピー可）を添えて塚本学院校友会事務局へ提出してください。なお、レシートは認められません。

13 支援活動の中止等の場合

支援活動を中止又は縮小する場合、速やかにその旨を校友会会長に届け出、しかるべき指示を待って下さい。

その場合中止等に至る正当な理由がない場合には、支援額の全額を返金していただきますので注意して申請してください。

1 4 予定額到達時の措置

支援額が予定していた金額に達した場合には、年度途中であっても活動支援を終了することがありますので、注意しておいてください。

申請書類記入上の注意事項

- 1 文字は、楷書で明瞭に記入し「氏名」には必ずカタカナでフリガナをつけてください。
- 2 各様式の説明・注意書は必ず確認してください。

(様式1-①)

塚本学院校友会学生生活動支援申請書					支援申請日	
					年 月 日	
活動区分等	該当する活動に✓を入れ、活動の詳細を記入してください。					
	1 公募展出展 2 コンテスト・コンクール等への出場					
	3 その他 ()					
	名称				開催日	年 月 日
	場所	都・道 府・県	市・区 町・村	海外		
支援申請者	フリガナ					
	氏名					
	生年月日	西暦 年 月 日 生まれ				
	現住所	〒				
	連絡用電話番号	(携帯 ・ 固定)				
在学状況	学校名					
	入学年月	西暦 年 月 入学			学生番号	
	学科・専攻・学年	学科		専攻	回生	
	大学院 (芸術研究科)	前期・後期	芸術文化 学芸術制作	領域	回生	
指導教員見解						
年 月 日						
以上の理由で推薦します。 指導教員氏名 印						
以上のとおり学生生活動支援を申請します。						
塚本学院校友会会長 松井 公一 様						
年 月 日						
氏名 印						

※申請理由及び予算は別紙のとおりです。

(様式 1 - ②)

氏 名

1 活動支援申請理由書

(申請理由・活動目的・具体的活動内容・期待される成果などを記入してください。)

[illegible]

(様式1-③)

氏 名

2 活動支援申請に係る収入・支出予算

(1) 収入の部

単位：円

科 目	予 算 額	説 明
校友会活動支援金		
自己資金		
親類縁者からの支援		
合 計	0	

(2) 支出の部（今回かかる経費を全て記入してください。）

単位：円

費 目	予 算 額	うち支援金充当額	積 算
			予算額の積算
			うち支援金充当額の積算
			予算額の積算
			うち支援金充当額の積算
			予算額の積算
			うち支援金充当額の積算
			予算額の積算
			うち支援金充当額の積算
			予算額の積算
			うち支援金充当額の積算
合 計	0	0	

※1 収入の部の予算額合計と支出の部の予算額合計は同額にしてください。

※2 収入の部 「校友会活動支援金」の予算額と支出の部「うち支援金充当額」の合計金額は同額にしてください。

※3 予算書枠が不足する場合は、別紙に足してください。

(予算書例示)

様式 (1 - ③)

氏 名 校友会 太郎

2 活動支援申請に係る収入・支出予算

(1) 収入の部

単位：円

科 目	予 算 額	説 明
校友会活動支援金	60,000	
自己資金	30,000	
両親からの援助金	20,000	
合 計	110,000	

(2) 支出の部 (今回かかる経費を全て記入してください。)

単位：円

費 目	予 算 額	うち支援金充当額	積 算
応募費	30,000	15,000	予算額の積算 京都美術展出展費 30,000円
			うち支援金充当額の積算 上記の2分の1
作品梱包費用	40,000	20,000	予算額の積算 作品の梱包経費 (専門業者) 40,000円
			うち支援金充当額の積算 上記の2分の1
送料	35,000	24,000	予算額の積算 専門業者による作品の展示会場への搬送・搬入費用 35,000円
			うち支援金充当額の積算 上記のうち24,000円分を支援金から充当
交通費	5,000	1,000	予算額の積算 大阪梅田から京都市内の展示会場までの電車・バス代
			うち支援金充当額の積算 上記のうち1,000円分を支援金から充当
			予算額の積算
			うち支援金充当額の積算
合 計	110,000	60,000	

※1 収入の部の予算額合計と支出の部の予算額合計は同額にしてください。

※2 収入の部 「校友会活動支援金」の予算額と支出の部「うち支援金充当額」の合計金額は同額にしてください。

※3 予算書枠が不足する場合は、別紙に足してください。

(様式2-①)

塚本学院校友会学生生活動支援完了報告書				報告書提出日	
				年 月 日	
活動区分等	※1 下記1～3の申請該当活動に✓か該当する活動を記入してください。				
	1 公募展出展 2 コンテスト・コンクール等への出場				
	3 その他 ()				
	※2 下欄を使って支援申請活動の名称・時期・場所等を記入してください。				
	名称			時期	年 月 日
場所	都・道 府・県	市・区 町・村	外国名		
支援申請者	フリガナ				
	氏名				
	生年月日	西暦 年 月 日 生まれ			
	現住所	〒 ー			
	連絡用電話番号	(携帯 ・ 固定)			
在学状況	学校名				
	入学年月	西暦 年 月 入学	学生番号		
	学科・専攻・学年	学科	専攻	回生	
完了報告及び決算などは別紙のとおり					
以上のとおり学生生活動支援完了を報告します。					
塚本学院校友会会長 松井 公一 様					
年 月 日					
氏名 印					

1 活動支援完了報告

(修学上有用な具体的活動内容及び成果などをまとめてください。)

[illegible]

(様式2-③)

氏 名

2 活動支援完了報告に係る収入・支出決算

(1) 収入の部

単位：円

科 目	当初予算額	決算額	説 明
校友会活動支援金			令和8年度塚本学院校友会学生生活動支援制度による支援金収入
合 計	0	0	

(2) 支出の部

費 目	予 算 額	決算額	うち支援金充当額	説 明
				決算額の説明
				うち支援金充当額の説明
				決算額の説明
				うち支援金充当額の説明
				決算額の説明
				うち支援金充当額の説明
				決算額の説明
				うち支援金充当額の説明
合 計	0	0	0	

- ※1 収入の部の予算額合計と支出の部の予算額合計は申請時の金額を記入してください。。
- ※2 収入の部 「校友会活動支援金」の決算額よりと支出の部の「うち支援金充当額」の合計金額が少ない場合には、返金の対象になります。
- ※3 費目枠が不足する場合は、別紙に足してください。
- ※4 決算額の説明のため、必ず全費目申請者宛ての領収証を添付してください。(カラーコピー可)

(決算書例示)

氏 名 校友会 太郎

(様式2-③)

2 活動支援完了報告に係る収入・支出決算

(1) 収入の部

単位：円

科 目	当初予算額	決算額	説 明
校友会活動支援金	60,000	60,000	令和8年度塚本学院校友会学生生活動支援制度による支援金収入
自己資金	30,000	33,260	
両親からの援助金	20,000	20,000	
合 計	110,000	113,260	

(2) 支出の部

費 目	予算額	決算額	うち支援金充当額	説 明
応募費	30,000	31,000	15,500	決算額の説明 京都美術展出演費 領収書添付
				うち支援金充当額の説明 上記費用の2分の1
作品梱包費用	40,000	41,000	20,500	決算額の説明 専門業者による作品の梱包 領収書添付
				うち支援金充当額の説明 上記費用の2分の1
送料	35,000	40,000	23,500	決算額の説明 専門業者による作品の展示会場への搬送・搬入費用領収書添付
				うち支援金充当額の説明 上記費用の23,500円充当
交通費	5,000	1,260	500	決算額の説明 大阪梅田から京都市内の展示会場までの電車バス代
				うち支援金充当額の説明 経路図添付 上記費用のうち500円充当
				決算額の説明
				うち支援金充当額の説明
合 計	110,000	113,260	60,000	

※1 収入の部の予算額合計と支出の部の予算額合計は申請時の金額を記入してください。

※2 収入の部 「校友会活動支援金」の決算額よりと支出の部の「うち支援金充当額」の合計金額が少ない場合には、返金の対象になります。

※3 費目枠が不足する場合は、別紙に足してください。

※4 決算額の説明のため、必ず全費目申請者宛ての領収証を添付してください。(カラーコピー可)